



<フィルム部門 A カテゴリー (テレビ CM)>

総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールド>

賞名	広告主	商品名	題名	秒数	広告会社	制作会社
総務大臣賞 ／ACC グラ ンプリ	KDDI	au	au ガラホ 海の声篇／ au 竜宮城ふるふる篇／ au 秋のトビラ・もうひと つの鬼退治篇／au 鬼、登 場篇／au スマートバリュ ー 鬼と鬼嫁篇／スーパ ーカケホ 鬼の子篇／au 学割 何かが違う金ちゃ ん篇／au でんき 雷さま 篇／au ドンドンドン得 花咲爺さん篇／au 学割 ニセ太郎・ネギ篇／au 夏 のトビラ・一寸法師、登 場篇／au 春のトビラ・み んながみんな英雄篇	60／30／60 ／30／30／ 30／30／30 ／30／30／ 60／60	電通	AOI Pro.
ACC ゴール ド	赤城乳業	ガリガリ君	値上げ	60	電通東日本 ／電通 関 西支社	春企画東京
	大塚製薬	カロリーメ イト	見せてやれ、底力。	120	博報堂／ catch	AOI Pro.
	サントリー ホールディ ングス	BOSS	宇宙人ジョーンズ・時代 篇／宇宙人ジョーンズ・ 恋人も濡れる街角篇／宇 宙人ジョーンズ・喝采篇 ／宇宙人ジョーンズ・ヘ ッドライト・テールライ ト篇／宇宙人ジョーン ズ・プレミアム京都篇／ 宇宙人ジョーンズ・北海 道新幹線篇	30／30／30 ／60／60／ 60	シンガタ／ ワンスカイ ／電通	ギークピク チュアズ
	長崎自動車	長崎バス	オープニング／南越のふ たり／神ノ島のひとびと	60／60／60	電通九州	電通クリエ ーティブ X
	新日邦	コンコルド	コンコルゲン夫婦・愛の 勝利 1／コンコルゲン夫 婦・愛の勝利 2／コンコ ルゲン夫婦・愛の勝利 3 ／コンコルゲン夫婦・愛 の勝利 4／コンコルゲン 夫婦・愛の勝利 5／コン コルゲン夫婦・愛の勝利 6／コンコルゲン夫婦・ 愛の勝利 7／コンコルゲ ン夫婦 victory の歌	30／30／15 ／15／30／ 15／30／30	ダン	ザ・ないん



住友生命保険	1UP	「仕事で1UP 先輩の証言」篇／「部会で1UP 本人の証言」篇／「デートで1UP 営業職員の証言」篇 30秒／「先輩も1UP 上田の証言」篇／「海外出張で1UP タクシー運転手の証言」篇	30／30／30／30／30	TUGBOAT／博報堂	東北新社
テレビ埼玉	私CM	私CM「中島千裕」篇	60	電通	ピクト
滋賀県	石田三成	武将といえば／めがね／実績／民にやさしい＋年貢／レイクビュー佐和山城跡＋算術	30／30／30／30／30	電通 関西支社	電通クリエイティブX 関西支社
UHA 味覚糖	さけるグミ	あやしい関係／ストラップ／会議	15／15／15	博報堂	東北新社

＜同地域賞（ローカル・クライアントのマーケティング・販促活動に資する優れたCMが各地で放送されることを目指し、また地元クリエイターが相互啓発するための活性役としてAカテゴリーに地域賞を設けています。）＞

賞名	広告主	商品名	題名	秒数	広告会社	制作会社
地域賞	北海道 テアトルアカデミー	オーディション募集	「キラキラ☆ネーム」篇 札幌校／「影武者」篇 札幌校／「予知能力」篇 札幌校／「オーディションあるある」篇 札幌校／「こちょこちょ」篇 札幌校	15／15／15／15／15	読売エージェンシー	エージー
	東北 岩手日報 広告社	三陸鉄道 IWATTE	手書きさんてつ	60	博報堂	博報堂プロダクツ
	関東・甲信越・静岡 テレビ埼玉	私CM	私CM「中島千裕」篇	60	電通	ピクト
	北陸・中部 東海テレビ放送	報道局 TVCM キャンペーン	堀川、ヤバくない？／おれは堀川	240／90	電通	ソーダコミュニケーションズ／Zaxx
	近畿 UHA 味覚糖	さけるグミ	あやしい関係／ストラップ／会議	15／15／15	博報堂	東北新社
	中国・四国 岡山県真庭郡新庄村	岡山県真庭郡新庄村	新庄村 移住定住 PR あれから10数年村の人口は減っていた	30	ビザビ	山陽映画
	九州・沖縄 大分県	おんせん県 おおいた	シンフロ	90	西広	T&E

<フィルム部門 B カテゴリー (Online Film)
総務大臣賞/ACC グランプリ、ACC ゴールド>

賞名	広告主	商品名	題名	秒数	広告会社	制作会社
総務大臣賞 /ACC グランプリ	一般社団法人 END ALS	END ALS	I'M STILL	194	マッキン エリクソン	AOI Pro.
ACC ゴールド	内閣府	消費者保護	毎日話せば詐欺は防げる	127	電通	電通クリエ ーティブX
	宮崎県小林市	移住促進 PR	ンダモシタン小林	105	電通/ 電通九州	ロボット
	資生堂	資生堂化粧品 (マジョリ カマジョル カ/インテ グレート)	H i g h S c h o o l G i r l ? メーク女子 高生のヒミツ	147	—	ワッツ オ ブ トーキ ョー

<フィルム部門 クラフト賞 (受賞作の優れた分野を手掛けた個人に贈られます) >

(以下クラフト賞でカテゴリー表記のないものは A カテゴリー)

- ・ディレクター : 佐藤渉氏 (ACC ゴールド: UHA 味覚糖/さけるグミ/あやしい関係、他)
- ・カメラマン : 重森豊太郎氏 (ACC グランプリ: KDDI/au/au ガラホ 海の声篇他)
- ・ライトマン : 前川賀世子氏
(ACC ゴールド: 住友生命保険/1UP/「仕事で 1UP 先輩の証言」篇他)
- ・エディター : 今村徳孝氏、須藤公平氏
(ACC ゴールド: 大塚製薬/カロリーメイト/見せてやれ、底力。)
- ・サウンドデザイン : 5lack 氏 (作詞、演奏・歌手)、下田法晴氏 (作曲)
(ACC シルバー: NTT ドコモ/企業広告/「Style'20 マッシュー」篇他)
- ・プロデューサー: 山田博之氏、川口正太氏
(ACC ゴールド: 大塚製薬/カロリーメイト/見せてやれ、底力。)
- ・演技賞 : 瑛太さん、荒川良々さん (ACC ゴールド: 住友生命保険/1UP/「仕事で 1UP 先輩の証言」篇他)、山田孝之さん (ACC シルバー: 日本コカ・コーラ/ジョージア/40 周年 この国を支える人々篇他)、黒木華さん (ACC ブロンズ: サントリーホールディングス/オールフリー/白いパラソル、他)、竹山隆範さん (B カテゴリー、ACC ゴールド: 内閣府/消費者保護/毎日話せば詐欺は防げる)、さかなクン、綾小路翔さん (ACC ブロンズ: キリンビール/氷結/あたらしくいこう さかなクン篇、同 綾小路翔篇)

<フィルム部門 小田桐昭賞>

藤井亮氏 (電通 関西支社) A カテゴリー、ACC ゴールド: 滋賀県/石田三成/武将と云えば、めがね他、B カテゴリー、ACC シルバー: 滋賀県/公共広告/石田三成 TVCM 第一、二弾

<フィルム部門 審査委員 16名 (株式会社・敬称略、五十音順) >

審査委員長

古川裕也 電通 クリエーティブ・ボード/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

佐々木宏 シンガタ クリエイティブ・ディレクター

佐藤カズー TBWA 博報堂 エグゼクティブ クリエイティブディレクター

澤本嘉光 電通 クリエーティブ・ボード/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター/
CMプランナー

塩崎秀彦 TOKI/博報堂フェロー クリエイティブディレクター/CMプランナー

菅野薫 電通 CDC/Dentsu Lab Tokyo
グループ・クリエイティブ・ディレクター/クリエイティブ・テクノロジスト

高崎卓馬 電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター/CMプランナー

多田琢 TUGBOAT クリエイティブディレクター/CMプランナー

土屋敏男 日本テレビ放送網 日テレラボ ゼネラル・プロデューサー

都築徹 電通 中部支社 クリエーティブ・ディレクター/コピーライター

東畑幸多 電通 クリエーティブ・ディレクター/CMプランナー

西田淳 ドリル コンテンツプランナー

蜷川実花 写真家・映画監督

福里真一 ワンスカイ CMプランナー/コピーライター

山崎隆明 ワトソン・クリック クリエイティブディレクター/CMプランナー

村田俊平 電通九州 CMプランナー

(2015年小田桐昭賞受賞者)

<フィルム部門 A、B カテゴリー概要>

審査対象 : A カテゴリー : 2015年7月1日から2016年6月30日までに一般社団法人日本民間放送連盟加入放送局で初めて放送されたCM。

B カテゴリー : 2015年7月1日から2016年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。初公開日は問いません。

地域審査会 : 8月初旬に8都市(札幌、青森、静岡、松本、名古屋、大阪、岡山、那覇)で実施。

全国審査会 : 一次オンライン審査 8月26日(金)~9月6日(火)、二次オンライン審査 9月9日(金)~9月13日(火)、最終審査会 9月15日(木)、16日(金)

入賞内訳 :

フィルム A カテゴリー (応募総数 1,409 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	9
	ACC シルバー	11
	ACC ブロンズ	17
	ACC ファイナリスト	46

地域賞 7 本 (他に ACC 地域ファイナリスト 105 本)

フィルム B カテゴリー (応募総数 367 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	3
	ACC シルバー	3
	ACC ブロンズ	4
	ACC ファイナリスト	16

<ラジオ CM 部門 総務大臣賞/ACC グランプリ、ACC ゴールド>

賞名	広告主	商品名	題名	秒数	広告会社	制作会社
総務大臣賞 /ACC グランプリ	大日本除虫菊	蚊がいなくなるスプレー、キンチョール、プレシャワー	その1/その2/その3	60/60/60	電通 関西支社	ヒッツコーポレーション
ACC ゴールド	キリンビール	一番搾り 大阪づくり	度合い	100	—	朝日放送 / ビッグフェイス
	ファーストブランド	マイベスト ジョブ	東京/あまった出汁/この夏/なついてよ/中華料理屋/あだな/春/やらしい/三角関係/隠して	20/20/20 / 20/20/20 / 20/20/20	電通 関西支社	ヒッツコーポレーション
	森永製菓	inゼリー	おにぎり / 10秒? / 英語的に	20/20/20	電通	エムアイティギャザリング

<ラジオ CM 部門 クラフト賞>

- ・コピーライター：直川隆久氏
(ACC グランプリ：大日本除虫菊/蚊がいなくなるスプレー他/その1~3)
高崎卓馬氏、魚返洋平氏
(ACC ブロンズ：住友ゴム工業/WINTER MAXX/雪の境界)
- ・ディレクター：古川雅之氏
(ACC グランプリ：大日本除虫菊/蚊がいなくなるスプレー他/その1~3)
- ・音楽：中島光一氏 (作曲)、新井深絵氏 (演奏、歌手)
(ACC ブロンズ：みお綜合法律事務所/同/愛してほしい他1篇)
- ・タレント：福山雅治さん (ACC ブロンズ：住友ゴム工業/WINTER MAXX/雪の境界)

<ラジオ CM 部門 アンダー29 賞 (優れた作品を手掛けた 29 歳以下の主制作者に贈賞) >

*PL=プランナー、CW=コピーライター、D=ディレクター

- ・飯田麻友氏 (CW：日本郵便/ゆうパック/届けたかったもの)
- ・原央海氏 (PL、CW：東京ガス/ミスティ/「帰宅」篇)
同 (PL、CW、D：パナソニック/ボウズカッター/「気にしていない」篇)
- ・福居亜耶氏 (PL、CW、D：ACC ブロンズ：ファーストブランド/マイベストジョブ/ 歓びの小銭篇)
- ・伊藤みゆき氏 (PL、CW：ACC ファイナリスト：中部 CM 合同研究会/企業広告/ 言葉の限界に挑戦、加藤陽子他)
- ・亀山公亮氏 (PL：ACC ファイナリスト：日清食品 HD/日清のどん兵衛/〇〇ドン)



- ・寺田愛氏 (D : ACC シルバー : 浜名湖ライフサポート / 有料老人ホームみかんの郷 / 送ってね! 篇)
- ・三宅幸代氏 (CW : 近畿地域ファイナリスト : パナソニック / パナソニックリフォーム / 言葉のリフォーム)
- ・関俊洋氏 (PL、CW : パイオニア販売 / ミュージッククルーズチャンネル / 音楽って、大事)
- ・武田さとみ氏 (PL、CW、作詞 : 東京ガス / 企業 / 「エネルギーのうた (今年 ver)」 篇)
- ・明円卓氏 (PL、CW : ACC ファイナリスト : ゆうちょ銀行 / 企業広告 / 「お金の手ざわり」 篇) の 10 氏、11 作品

<ラジオ CM 部門 企画賞 (特に作り方や流し方、仕組みの斬新性などの企画性を評価) >

- ・ACC ゴールド : ファーストブランド / マイベストジョブ / 東京他 9 篇

<ラジオ CM 部門 審査委員 14 名 (株式会社・敬称略、五十音順) >

審査委員長

澤本嘉光 電通 クリエーティブ・ボード / エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター / CM プランナー

- 今浪祐介 オフィスクレッシェンド 構成作家
- 井村光明 博報堂 クリエイティブディレクター
- 大谷ノブ彦 ダイノジ よしもとクリエイティブ・エージェンシー お笑いタレント
- 権八成裕 シンガタ CM プランナー
- 嶋浩一郎 博報堂ケトル クリエイティブディレクター・編集者
- 遠山大輔 グランジ よしもとクリエイティブ・エージェンシー お笑いタレント
- 中川英明 電通 コピーライター / CM プランナー
- 中山佐知子 ランダムハウス コピーライター & ディレクター
- 西田善太 マガジンハウス BRUTUS 編集長
- 橋本奈々未 乃木坂 46
- 福本ゆみ 福本ゆみ事務所 コピーライター / クリエイティブディレクター
- 三井明子 アサツー ディ・ケイ コピーライター / クリエイティブディレクター
- 宮野潤一 TOKYO FM 編成制作局編成制作部長

<ラジオ CM 部門概要>

審査対象 : 2015 年 7 月 1 日から 2016 年 6 月 30 日までに一般社団法人日本民間放送連盟加入放送局で初めて放送された CM。

地域審査会 : 8 月初旬に 8 都市 (札幌、青森、静岡、松本、名古屋、大阪、岡山、那覇) で実施。

全国審査会 : 9 月 8 日 (木)、9 日 (金)

入賞内訳 :

ラジオ (応募総数 570 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	3
	ACC シルバー	6
	ACC ブロンズ	15
	ACC ファイナリスト	32

ACC 地域ファイナリスト 30 本、アンダー29 賞 11 本、企画賞 1 本

<ME 部門 総務大臣賞/ACC グランプリ、ACC ゴールド>

賞名	広告主	商品名	キャンペーン名	タイトル	広告会社	制作会社
総務大臣賞 /ACC グランプリ	アキタ	きよら グルメ 仕立て	きよらのたまご	きよらのおふとん	タレントアン ドアクセスメン ト/博報堂/ catch	ギークピク チュアズ/ Cabbage Design
ACC ゴール ド	KDDI	au	～小さな小さな仕掛け で大きな広告効果～ 「一寸法師を探せ」施 策	三太郎シリーズ	電通	AOI Pro.

<ME 部門 審査委員 11 名 (株式会社・敬称略、五十音順) >

審査委員長

土橋代幸 トヨタマーケティングジャパン 取締役

幼方聡子 東レ 宣伝室長

小和田みどり ライオン 宣伝部長

矢野絹子 KDDI コミュニケーション本部 宣伝部 部長

山口有希子 日本アイ・ビー・エム マーケティング&コミュニケーション
コミュニケーション&ブランドエクスペリエンス 本部長

大越いづみ 電通 ビジネス・クリエーション・センター
局長/エグゼクティブ・ビジネス・クリエーション・ディレクター 兼 電通総研所長

大高香世 VoiceVision 代表取締役社長

木下一郎 電通 クリエーティブ・ディレクション・センター センター長 ECD

清水健 アサツー ディ・ケイ 統合ソリューションセンター
エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/コピーライター

能登健裕 東急エージェンシー ソリューション本部 クリエイティブ局局长
シニア クリエイティブ ディレクター

藤井久 博報堂 執行役員/クリエイティブ人材企画室長

<ME 部門概要>

審査対象： 戦略的かつ効果的な広告活動を展開した企画で、2015年7月以降も継続している企画（キャンペーン）で、2015年7月1日から2016年6月30日の間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において当該キャンペーンのテレビもしくはラジオCMが放送されている、もしくは同期間にWEB上で当該キャンペーンのムービー及びサウンドコンテンツが公開されていることが条件。

審査会： 1次審査会 8月2日（火）、最終審査会 9月12日（月）

入賞内訳：

ME (応募総数 94 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	1
	ACC シルバー	3
	ACC ブロンズ	2
	ACC ファイナリスト	13

<インタラクティブ部門 総務大臣賞／ACC グランプリ>

賞名	広告主	商品名	題名	広告会社	制作会社
総務大臣賞 ／ACC グランプリ	宮崎県小林市	移住促進 PR	ンダモシタン小林	電通／ 電通九州	ロボット
ACC ゴールド	オーストラリア政府観光局	Australia	GIGA Selfie	TBWA\ HAKUHODO	AOI Pro. / AID-DCC
	P&G	車用ファブリーズ	CHOOSE NON-SMELLY TAXI	グレイワール ドワイド	東北新社
	トヨタ自動車	TOYOTA i-ROAD	OPEN ROAD PROJECT	電通	電通テック ／電通国際 情報サービス

<インタラクティブ部門 カテゴリー賞>

*ACC ファイナリストから選定

- ・オウンドメディア：ダイキン工業／屋外看板／生きてる看板 大びちゃんくん
- ・オンラインアド：日本マクドナルド／全商品／McNOW
- ・Web キャンペーン：日本循環器学会、減らせ突然死プロジェクト実行委員会／AED／
心止村湯けむり事件簿 | AED サスペンスドラマゲーム
- ・オンラインビデオ：ポケモン／Pokémon GO／『Pokémon GO』初公開映像
- ・モバイル：オリエントランド／東京ディズニーランド／SYNC! THE "DISNEYLAND PARADE"
- ・デジタル・ツール＋ウェアラブル・デバイス：サカワ／ハイブリッド黒板アプリ「Kocri (コクリ)」
- ・アウトドア・メディア＋デジタル・サイネージ：三井住友銀行／金融ミュージアム／
金融/知の LANDSCAPE
- ・リアルイベント×インタラクティブ：日本貿易振興機構、農林水産省、経済産業省／ミラノ
国際博覧会日本館／ミラノ国際博覧会日本館・展示演出「Future food from Japan」
- ・マスメディア×インタラクティブ：日本放送協会／NHK スペシャル「新・映像の世紀」
スペシャルウェブサイト
- ・ブランDEDド・コンテンツ：森永製菓／開かずのチョコボール&開かずのカンヅメ
- ・キャンペーン・インテグレーション：明光ネットワークジャパン／明光義塾／サボローキャンペーン
- ・ニューテクノロジー：Zaim／おいしい旬の地図
- ・広告的発明：ローソン／コンビニのレジ音

<インタラクティブ部門 クラフト賞>

- ・プログラマー賞：マイクロソフトディベロップメント 藤原敬三氏 (ACC シルバー：
マイクロソフトディベロップメント／りんな)
- ・クライアント賞：宮崎県小林市長 肥後正弘氏 (ACC グランプリ：宮崎県小林市／
移住促進 PR／ンダモシタン小林)
- ・プロデューサー賞：西川貴教氏 (ACC ブロンズ：ソニー・ミュージックエンタテイン
メント／ T.M.Revolution20 周年事業／株式会社突風ホームページ)
- ・テクニカルディレクター賞：カヤック 村井孝至氏 (ACC シルバー：サンリオエンター
テインメント／サンリオピューロランド／ちゃんりおメーカー)



- ・テクニカルディレクター賞：NTT サービスエボリューション研究所 長田秀信氏（ACC ブロンズ：ドワンゴ／超歌舞伎「今昔饗宴千本桜」）
- ・デザイナー賞：相楽賢太郎氏（ACC ブロンズ：キリンビール／Green Label／Green Name）
- ・デザイナー賞：中谷亜未氏（ACC シルバー：サンリオエンターテインメント／サンリオピューロランド／ちゃんりおメーカー）

<インタラクティブ部門審査委員 13 名（株式会社・敬称略、五十音順）>

審査委員長

須田和博 博報堂 シニア・クリエイティブディレクター

- 大八木翼 SIX クリエイティブディレクター／共同執行責任者
 落合陽一 筑波大学 メディアアーティスト／筑波大学助教／デジタルネイチャー研究室主宰
 倉又俊夫 日本放送協会 放送総局 デジタルコンテンツセンター 副部長
 齋藤精一 Rhizomatiks Creative Director／Technical Director
 Saqoosha dot by dot CTO／Programmer
 白井明子 ローソン デジタルプラットフォーム部 マネージャー
 白土謙二 個人 思想家／元・電通執行役員
 菅野薫 電通 CDC／Dentsu Lab Tokyo
 グループ・クリエイティブ・ディレクター／クリエイティブ・テクノロジスト
 田中耕一郎 PROJECTOR クリエイティブディレクター
 刀田聡子 宣伝会議 『ブレン』副編集長
 朴正義 バスキュール 代表取締役／クリエイティブディレクター
 横澤大輔 ドワンゴ 取締役 CCO

<インタラクティブ部門概要>

審査対象： 2015年7月1日～2016年6月30日の間に掲載されたインターネット広告・モバイル広告、同期間にローンチもしくはリニューアルした企業・団体によるウェブサイト・モバイルサイト、同期間に公開されたウェブ・モバイル・アプリケーション、同期間に実施されたリアルイベントなど、すべてのインタラクティブ広告・広告的取り組みを対象とします。

審査会： オンライン一次審査 8月12日（金）～8月25日（木）、最終審査会 9月5日（月）
入賞内訳：

インタラクティブ (応募総数 245 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	3
	ACC シルバー	6
	ACC ブロンズ	11
	ACC カテゴリー賞	13

< 審査講評 フィルム部門 審査委員長 古川裕也 氏 >

A カテゴリー：テレビCM。例えば去年のグランプリのように、まだあまり知られていない傑作を発見するのも賞の仕事であり、世の中が先行して評価したものを、どこかのタイミングでグランプリとして遇するのもまた、賞の仕事である。今年も後者だった。グランプリは、圧倒的多数ですんなり決まった。受賞作は、ゴールドだった去年より明らかに進化していた。

去年新設したB カテゴリー：オンラインフィルム。2年目の今年は、応募数の増加だけでなく、ずいぶん豊饒な作品群になった。クオリティとダイヴァシティである。フィルムという表現形式の、まだ立ち現れていない多様な可能性を感じさせるものだった。なにより貴重なのは、今までできなかった”Something New”をなんとか創り出そうという健全な野心だと思う。グランプリ受賞作は、フィルム・クリエーションの領域を明らかに拡張した。

今年の優れた仕事には、才能に関しても多様性が見られた。Aのスキルを応用してBを創り、そこで得たスキルを使ってまたAを創る、というように。いわば才能が幾重にも循環していくことになるのが、ふたつのカテゴリーが併存していることの重要な意味だと思われる。

< 審査講評 ラジオCM部門 審査委員長 澤本嘉光氏 >

ラジオをラジコで聞けることが広まり、若い人にも“ながら聴取”ができるラジオが再び関心を持たれ出して来ている最近ですが、ラジオCMにも若い制作者の関心が戻りつつあります。応募者の年齢もかなり若い人が目立ち出しており、それに対応して審査する側も若い意見をきちんと吸い上げることができるかが一つの目標になりました。ラジオ番組に出る立場でもある乃木坂46の橋本奈々未さんがその役割を十分に審査委員として果たしてくれましたし、グランジ遠山さん、ダイノジ大谷さん、といったしゃべり手、BRUTUSの西田編集長、といった、ラジオを制作する側だけではなく、話す側、批評する側のプロにも今年も審査委員として参加していただいた結果、制作者が応募したい賞、審査委員に聞いて欲しいと思える賞、にさらに変わっていきつつあるという流れを感じ取れています。

受賞作も、グランプリが、圧倒的な原稿力、演技力が放送時にネットでも話題になっていた作品が選ばれたことに代表されるように、今やラジオCMはただ流すだけでなくコンテンツとしてネットで拡散する時代になったという象徴になっているものが選べたと思っています。

動画の表現の基本は、実は音声。その点で、ラジオCMを追求することがきっと動画の表現の向上、教育に役に立つはずです。

ACCのホームページで今回の受賞作を是非実際に聞いていただいて、ラジオCMの楽しさ、奥の深さを是非感じて欲しいと思います。

そして来年は是非若いみなさんが受賞すべく応募してくれる事を心待ちにしています。

< 審査講評 ME 部門 審査委員長 土橋代幸氏 >

日々仕事の中でビジネス課題に向き合っている広告主と広告会社のマーケティングのプロが喧々諤々、「エフェクティブネスとは何か？」を徹底的に議論し、単なる売上の規模でなく、課題に対しての本質的な効果・成果をこそ評価することを基本スタンスに審査を行いました。

今年はTV・ラジオでのオンエアをエントリー条件から外したこともあり、マスとデジタルを掛け算して最大限の効果を追求するキャンペーンが大幅に増えた中、大激戦を制して今年のグランプリに輝いたのは、アキタ「きよらのたまご」キャンペーンです。

スーパーの特売品の常連で、もっともコモデティー化した商品である「卵」を新たにブランディングし、「定価で指名買いしてもらおう！」という難しい課題に対して、女性の心をつかむエッジの効いたクリエイティブアイデアと、TVCMとクックパッドの展開を絶妙に掛け算することで、熾烈な価格競争が繰り広げられる卵売り場で、瞬間風速でなく「継続的に！」指名買いを実現し、大幅な売り上げ増につなげた事が、高評価となりました。

接戦の末惜しくもゴールドとなった au の「三太郎シリーズ」も、国民的な人気を確立した“強い表現フレーム”に甘んじる事無く、隠れキャラ「一寸法師」を密かに忍ばせ、世の中から発見されることを待つという大胆な仕掛けで、能動的に何度も見たくなるCMの仕組みを成功させたことが、マス×デジタルの新しい地平を切り開いてくれたと思います。

他にも、宮崎県小林市の「移住促進PR」、広島社会福祉法人はぐくみの里の「折り鶴リサイクルシステム」がシルバーとブロンズに選ばれ、地域課題に対するクリエイティブの大きな可能性を感じました。

メディア環境が多様化し、消費者の購買行動が激変する時代にふさわしい、強くて新しいマーケティングを今回選定したキャンペーンから皆さんが感じ取って頂けるのではないかと感じています。

< 審査講評 インタラクティブ部門 審査委員長 須田和博氏 >

新しい「ソレって広告なの？」を探して

「今までの広告の形をしていないモノを探したい」というテーマを掲げて、いままでにない多様性をもった審査委員の皆さまを招聘させていただいた。今年度から「カテゴリー賞」も新設した関係で、審査の時間も議論の時間も、とても長時間を要したが、頼りない審査委員長を囲む、多様な審査委員の闊達な談論風発のおかげで、面白い作品・事例群が抽出できたと思う。「カテゴリー」は過去の判例。「広告的発明」と名付けてみても、ソレが何なのかは、誰にもわからない。「アレが未来の芽だったんだ！」というのは、おそらく5年10年たってみないとわからないだろう。そんな中、宮崎県小林市の移住促進PRムービー「ンダモシタン小林」は、満票でグランプリを獲得した。規模ではない知恵のアプローチ、フィルムとしてウェルメイドながら、YouTubeという再生環境を仕掛けとして企画の内に取り込んでいる見事さなどが、全審査委員一致の推挙の理由であろう。ゴールドを獲った、オーストラリア政府観光局の「GIGA Selfie」、P&Gの車用ファブリーズ「CHOOSE



NON-SMELLY TAXI」、TOYOTA i-ROAD の「OPEN ROAD PROJECT」の、3つのどれもが、発想と実施において、今までの「広告の形」を逸脱しながらも、たしかに「コレも広告だ！」と言えるものだったと思う。そして、シルバー、ブロンズ、各カテゴリー賞のいずれもが、新しい「ソレって広告なの？」の近くにあるものたちとなった。審査委員の皆さまと、多数の応募をしてくださった皆さまに、共に感謝申し上げたい。来年も、よろしく願いいたします！

以下余白